

第1回印西市補助金等評価委員会会議録

- 1 開催日時 平成30年7月24日(火)
午後2時から午後3時まで
- 2 開催場所 印西市役所 附属棟 23会議室
- 3 出席者 藤澤進委員長、青木楠雄委員、池田明委員、岩井和子委員、佐々木護委員
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 板倉市長、岩井総務部長、岩崎参事、石井係長、石井主査、小倉主査
- 6 傍聴者 3名
- 7 議題 (1) 委員長の互選について
(2) 副委員長の互選について
(3) 会議の運営方法について
① 今後の会議開催日程について
② 評価方法について
(4) その他
- 8 会議結果
議題 (1) 委員長の互選について
・委員長の互選を行い藤澤進委員が委員長に選任された。
(2) 副委員長の互選について
・副委員長の互選を行い池田明委員が副委員長に選任された。
(3) 会議の運営方法について
① 今後の会議開催日程について
・事務局からの説明を行い、各会議日程について了承いただいた。
② 評価方法について
・事務局からの説明を行い、了承をいただいた。
(4) その他
・なし

議題(3)② 評価方法における質疑事項等について

【委員】補助金等評価調書は、1つの補助金に対し1枚書くということですか。

【議長】そのようになります。過去の評価委員会では、事業仕分けに近い廃止や継続といった意見を出しましたが、今回そこまで行わないこととします。そのかわり30分間に評価調書の左側にチェックを入れていきます。担当課からの説明、質疑を行いながらチェックをし、その日の内に事務局へ提出していただくこととなります。チェックしたものを事務局が相関図に反映しますので、相関図を見ながら意見を書いてもらうこととなります。この部分が一番重要になると思います。所管課が継続するといったものに対し、対象を絞った方がいいのではないかと、手続きの方法ですとか色々ご意見があると思います。その部分が今後、総務課が担当課と折衝する上で重要な資料となりますので、意見の部分をしっかり書いていただきたいと思います。

補助金等の資料は事前に配られるということになりますか。

【事務局】 8月17日の2回目の会議資料につきましては、1週間前までには送付させていただきます。3回目の会議資料については、2回目の会議時にお配りさせていただきたいと思います。後半の会議資料については、何回分かまとめてお配りさせていただくと思います。

【議長】 委員の皆様には、事前に資料をお配りいただけるということですので、ご検討いただいて当日、担当課の意見を聞きながら左側の部分をチェックし、事務局に提出してください。そして、事務局が相関図にしたものを見ながら意見の部分を書いていただき、次の委員会の際に意見の部分を事務局へ提出してください。委員の皆様は、忙しくなりますが、このような流れになりますのでよろしくお祈りします。

【事務局】 資料に対する質問につきましては、会議開催の3日前までに事務局へメール又はFAXでお願いしたいと思います。ご質問いただきました内容につきましては、ヒアリング当日に担当課からの回答または追加資料の提示をさせていただきたいと思います。ヒアリング当日の質問となりますと担当課も準備不足でお答えできないこともあろうかと思っておりますので事前に質問をいただければと、よりよい会議になると思っておりますので時間的に厳しい部分もありますがよろしくお祈りします。

【委員】 前回は、継続・廃止・拡大といった評価方法をされていましたが、その評価方法を変更したのはなぜでしょうか。

【事務局】 前回の評価委員会においても、基本的には、どの様にしたらより良い補助金等になるのかといったご意見をいただくといった主旨で行いました。しかし、担当課とのヒアリングで意見を出していく中で、結果として、廃止や縮小等といった評価となったものです。従って、評価委員会としての基々の考え方についてはかわっているものではございません。今回の評価委員会では、相関図を基に、より効果を出すためのご意見を伺いたいと考えております。

【議長】 相関図が出ますので、これを見ればどういった補助金の系統であるかわかると思います。大切なのは、改善すべき点を教えてあげることがこの委員会でありまして。ご意見の部分を、充実させていただきたいと思っております。

【委員】 前回の議事録や報告書を見ますと、まとめるのに苦労されていたような経過がありまして、全65件の内、19件の意見（全体の約3割）が1つにまとまっていないものでした。市側としては、色々な意見があったのでは、評価委員会側はどのような評価をしたのかわかりにくいものになってしまいます。評価委員会としても1つにまとめるのができなかったということは、本当に難しかったんだなということが言えますが、できるだけ1つにまとめていかなくてはいけないと思っております。

【議長】 同じような問題点、同じような意見でも委員さんの判断で廃止・縮小・現状維持など結論がまるっきり分かれてしまいます。大切なのは、どこを改善すべきかということが1番大事であると思っております。あえて、結論のすり合わせはしませんが、立ち位置的には相関図に現れてくると思っております。

【委員】 この会議で評価した意見というのは、それぞれの課に参考という形で報告するということになりますか。色々な意見がある中の1つの意見とういことになるわけですか。

【事務局】 委員の皆様のご意見を尊重させていただき、今後の補助金行政において検討させていただきたいと考えております。それぞれの補助等としての政策やニーズなどもございますので、そういったことを踏まえまして、委員の皆様からいただきましたご意見を市長に報告いたしました後、担当課にも報告をさせていただきます。また、ホームページ等で公表し市民の皆様に見てい

ただくことが重要であると考えます。

【委員】1つ1つの政策について詳しくわかりませんし、専門的な意見を言えるかどうかはわからないところではあります。

【委員】委員会として色々な意見を出しますが、最終的な補助金等の決定は市にあるということになりますか。

【議長】仕分けの委員会ではありませんので、そういうことになります。

【事務局】補助金や事業となりますと事業仕分け的なものと思われがちですが、印西市の補助金について、色々な見方の率直な意見を伺って各担当部署において、今後の政策にどう活かすかということが大事になってまいります。

この補助金等評価委員会は、各補助金の個々の支出状況を監査的にみるといった委員会ではありません。この委員会は、補助金が一層良いものになるための改善点・将来性や方向性を見据えていただいた上で、委員の皆様よりご意見をいただきたいと考えております。

【委員】監査的な見方をしてしまいそうですが、この委員会では、そういった見方をしないということですね。評価委員会としての位置づけを確認したいと思っていましたので、今の説明でわかりました。この委員会は、諮問に対する答申といったことではなく、市長に対し報告するとなっておりますね。委員の意見について活用されるのは、執行部であり最終的に決めるのは議会になるというわけでよろしいわけですね。評価委員会の役割が前回の会議録を見ていますと、最終の15回目で位置づけがどうなのかという疑問がありまして、委員の方々のそれぞれの考え方が違っておられたのか、評価委員会そのものに対する温度差があったのかかもしれませんが、委員長さんはまとめられるのに大変苦勞されたのではないかと思いますので、確認をさせていただきます。

【事務局】各補助金を事業仕分けや監査的なものではなく、補助事業の必要性、公益性、将来性をみていただくといったものでございます。また、まとまったものを市長に報告し市の施策に反映していきたいと考えております。市民目線で皆様の意見を頂戴したいと思います。今後の補助金等の進め方につきましては、執行部を含めまして各担当と協議し来年度以降の予算に反映させていくものとなりますのでよろしくお願いいたします。

【委員】この委員会として、1つの結論を協議してまとめていくというよりは、各委員が自分なりに判断して意見を出していけばよろしい、すり合わせをしなくてもよろしいということでしょうか。

【事務局】意見書欄には、類似する意見がございましたら、委員長と事務局でまとめさせていただきますが、それ以外の意見につきましては、各委員の意見として意見欄に記載させていただきます。

【委員】資料の取り扱い方法について注意する点などございますか。

【事務局】資料については、全て公表いたします。行政資料コーナーやホームページに公表いたします。

【委員】会議についても公開されているものということでしょうか。守秘義務といった点はないか確認をさせていただきます。

【事務局】会議録を作成し、署名していただいたものを公表させていただくこととなりますので、特に守秘義務はありません。

【委員】前回5年前の評価結果を受けて補助金等の見直しや予算への反映はどの程度されてい

るのでしょうか。

【事務局】前回の廃止、拡大といったものの中でお答えさせていただきます。28年度と27年度の決算比で比較しますと、9つの補助金が廃止となっております。効果額といたしましては、前回評価をいただきました65の補助金等を前年度決算、27年度と28年度で比較いたしますと2,038万4千円の削減となっております。

【委員】評価委員会の評価の反映だけではなく、補助金等の検討の結果というわけですね。

【議長】10年前と5年前とでは、同じ補助金でも手続き的に見直されたものもあります。

【委員】事務的なことですが、この評価委員会が最終的に市長へ提出する評価報告書ですが、その後の流れはどのようになるのでしょうか。行政改革推進本部で検討するとか、最終的には議会にも反映させますですとか、評価報告書の流れというものはあるのでしょうか。

【事務局】市長に報告するとともに、各課に通知しホームページや行政資料コーナーにおいて市民の皆様に公表いたします。また、見直しをしていく中で、必要に応じて行政改革推進委員会や内部組織の行政改革推進本部などにお諮りすることもあると考えます。

【委員】来年度の予算要望に間に合うのでしょうか。

【議長】市長への報告が年明けになりますのでどうでしょうか。

【事務局】委員長からもお話がありましたとおり、年明けに市長への報告となりますので、31年度予算への反映は難しいので、32年度以降からの反映となります。しかしながら、8月から補助金等のヒアリングが始まりますので、中には、担当課の判断で、31年度の予算に反映できる場合もあるかと思えます。

【議長】他にございますか。ないようであれば本日の会議はこれで終了とさせていただきます。

当日使用した資料

- ・会議次第
- ・資料1 委員名簿
- ・資料2 印西市補助金等評価委員会設置要綱
- ・資料3 市の事業と補助金等について
- ・資料4 平成30年度補助金等評価対象一覧
- ・資料5 補助金等評価委員会ヒアリング日程表
- ・資料6 補助金等評価調書
- ・資料7 平成25年度改訂 印西市における補助金等の在り方
- ・資料8 印西市第2次基本計画（抜粋）

平成30年7月24日に行われた印西市補助金等評価委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

会議録署名委員 青木 楠雄